

# 至誠を貫く

～誠実に人と接する 誠実に物事に取り組む 誠実に自分と向き合う～

## 合唱コンクール、直前報告

12月15日(金)は合唱コンクールです!現在、各クラスとも音楽の授業だけでなく帰りの会後にも本番に向けて猛練習をしています!どのクラスも「最高の合唱をしたい」「優勝するぞ!」「負けたくない!」という思いでしごをけずっています。今年から保護者の皆さまの入場が可能となり共に感動できるのが本当に嬉しいです。本番当日の見どころも含めて、1週間前のリハーサルの様子をお伝えします。そして、本番をより楽しんでいただきたいと思います。あくまで筆者(綾野)の主観ですのでそこは心を広くしてお読みください。また、臨場感を出すために表現もゆるめて書いております。あわせて、お許しいただければ幸いです。



## 先行逃げ切り体制整う! C組

### 「マイバラード」 松井孝夫 作詞・作曲

苦しい時にも仲間が存在こそが力強い一歩につながることを歌った素敵な名曲であり、担任池田が大切にしている精神が込められているため、C組にピッタリな曲。どんな賞レースでも1番手は本当に難しい。C組メンバーも担任池田も朝一のトップバッターという困難に肩を落としているのかと思いきや…、何か雰囲気が違う。クラス全体から「やってやるぞ!」というオーラが!!歌い始めからしっかりとした声量で歌い、さびにかけてソプラノ・アルト・テノールがきれいにハモる。担任池田は体育館の後方で、からだ全体を使って「もっと出せ!」というアクション!1番手の不安を感じさせない合唱を披露した。明るく元気なC組の長所が上乘せして発揮できれば、十分に「アレ」を狙える状態。歌詞にある愛のメッセージが観衆に伝わり、悲願の“先行逃げ切りタイトル奪取”ができるかが最大の見どころ!



## 出せるか、持ち前の爆発力 E組

### 「夢を追いかけて」 館内浩二 作詞 館内聖美 作曲

授業でも、乗ってきた時の盛り上がりは抜群のE組。男子は明るくどんな場面も臆せず突破できるタイプが多く、女子は確実かつ大胆に進めるタイプが多いため、はまったときの爆発力は計り知れない!しかし、リハーサルでは意外にも“しとやか合唱”。2日前の音楽室練習で担任日浦が「歌詞を覚えてないんだから歌い込んで覚えるぞ!」と檄を飛ばしていた。このしとやか合唱は、歌詞を覚えてないからなのか、はたまた手の内温存の作戦なのか。美しく伸びやかなソプラノの声も、安定感あるテノールの声も聞こえてきているだけに、1週間で化学反応を起こす可能性は十分!リハーサルでの担任日浦は侍ジャパンの栗山監督のように、どっしりと座りクラスの様子を分析。生徒一人一人の



能力を見極め、どんな戦略で仕上げてくることが本番の見どころ。「あきらめない・逃げ出さない・夢はすぐそこにある」という歌詞は「夢をかなえよう、いつの日か」で締めくくられる。優勝という夢を叶える日となるか!

## 体育大会の借りは必ず返す F組

### 「そのままの君で」 松井孝夫 作詞・作曲

他のクラスは忘れていくかもしれないが、担任藪木を筆頭にクラス全員はあの時の悔しさを忘れていない!春の体育大会で唯一“1位”がとれなかったF組。合唱コンクールだけは「絶対ゆずれない!」と、気合いがどのクラスよりも入っている。ただ、その気合いが空回りして、練習開始した頃の男子の歌声は、「そのままの君で～パンクロックバージョン～」かと思わせるものだった。しかし、リハーサルではソプラノの美声の響きと、男子の明るい歌声が心地よいハーモニーとなっていた。必死で練習してここまできたに違いない。担任藪木は、歌に合わせて全身でリズムをとり、じっとしてはられない様子。毎日職員室で夜遅くまで研究し、先輩の先生に尋ねる姿をみていただけにその気持ちは痛いほど理解できる!スタートからの成長率は1番のF組が“下剋上合唱”を達成し、悲願の1位を獲得できるかが本番の見どころ。

## 思わず口ずさむ心地よい歌声 G組

### 「Song Is My Soul」 高橋 浩美 作詞・作曲

名曲「旅立ちの日」の作曲者が作詞作曲した曲。この曲も一度聞けば頭に残るメロディ進行。G組は男子も女子も安定感ある声質。あとは“自信を持って歌いぎれるか”が勝敗を左右する。男女の人数比がほぼ同じである3年生の練習を聞いた時に、少数でも男声に負けぬ女子の声量と、それを支える男子の声を聞いて、自分たちの課題を再確認した。その3Gは銀賞を獲得している。目指す形はもう見えた!現時点でも思わず口ずさんでしまうくらい心地よい歌声で、高いレベルにあるだけに、ラスト1週間で観衆の心をつかむ仕上がりになるかが本番の見どころ。リハーサルでは、ガチガチになって声がうまく出せずに終わった。担任野村はその様子を見て思わず自分のクラスの写真を撮り忘れてしまうほど。でも、すぐさま反省会を開き、当日に仕事の休みを取ってまで来てくださる保護者の思いなどに触れて、生徒たちを鼓舞。自信を持ってG組の“魂 soul”を披露すれば優勝も夢ではない。

## 和・温・美のあるハーモニー B組

### 「あさがお」 山崎朋子 作詞・作曲

リハーサルでは、いつも和やかで温かい雰囲気のあるクラスカラーに、美しい声を乗せて絶妙のハーモニーを奏でたB組。担任森本は体育館後方で凛とした姿勢のまま合唱を見つめていた。一見仕上がっていきそうな合唱にも担任森本は満足していない。ここからさらに高めるための大きなヒ



ントは歌いだしの歌詞にある。「負けないって強い心で立ち上がって進んでも、負けそうな弱い自分に寄りかかってしまう」。まさに現在のB組。まだまだ自分の能力を出し切っていない、いや、出す勇気が持てない人が多くいる印象。歌声に各自の不安が乗っているのかもしれない。勇気を出して自分の殻を破り声を出せば、他を圧倒する合唱も夢ではない!ラスト1週間の仕上げで仲間と共に、暑さ負けないあさがおのようなたくましさや備えられるかが見どころといえる。本番で大輪の花を咲かせられるか!

## キャプテンキッドが栄冠をつかむか A組

### 「カリブ夢の旅」 平野祐香里 作詞 橋本祥路 作曲

キャプテンキッドが夢の宝を探すため、カリブ海へ冒険にでる様子を歌った曲…に聞こえるが、実はキャプテンキッドは「自分自身」。未知なる世界へ進むとき、人はどうしても不安で足がすくむが、そんな自分を奮い立たせるために歌っている。そのため、最初は穏やかできれいな歌いだったが、途中から大きくリズムが変わり、勇ましく覚悟をきめた強さのある曲へと変化する。本当に難しい曲。しかし、今年のA組は見事にこの曲を歌い上げる。旭東中の合唱の歴史の中で過去最高の「カリブ夢の旅」かもしれない。女子はなめらかさとシャープさを持ち、男子が1年生とは思えない重厚感を出している。しかし、リハーサルでは担任板野の不在が影響してか、緊張でカチカチであった。本番は緊張の荒波にも臆することなく史上最高の「カリブ夢の旅」を披露できるか見どころ!負けるなキャプテンキッド達!

## 会場に笑顔をもたらす集団 D組

### 「My Own Road 一僕が創る明日」 梶野知子 作詞・作曲

歌いだした瞬間にD組らしさが会場を包み込む。何事もクラス全体で明るく前向きに取り組んできたことがよくわかる。その楽しそうな様子を見ていると思わず笑顔になってくる。合唱コンクールのフィナーレを見事に飾ってくれることは間違いない。しかし、この雰囲気を出している裏には、プレスのタイミングをそろえたり、歌い方や声の出し方を細かく修正した練習があるから。担任時延はクラスの全員の熱量よりも熱い!歌っていないのに声を枯らすレベルで指導をしている。そして、全員がその指導に素直についていっているため上達が速い。雰囲気の良さに美しいハーモニーが乗れば、前の6クラスを完全に飲み込むのも夢ではない。“世紀の大まくり”が見られるか、これはD組の見どころであり、今年度の1年生合唱コンクール全体の見どころといえる!



## 至誠貴 感じてください、彼らの思いを 貴誠至

### 学年合唱「大切なもの」 山崎朋子 作詞・作曲

コロナ禍では難しかった合唱の観覧。ようやく保護者の皆さまに見ていただけます。ぜひ、成長した姿をみてください。この学年合唱は、生徒一人一人が大切にしている「仲間」や「家族」や「先生」や「地域」に向けて、精一杯の思いを込めて、本気で歌います。どうぞ生徒たちの“思い”を受け取ってください。



バスタオル いるかも!